

活力あふれる 住みよい長崎!

長崎市議会議員

# 井上重久 しげ ひさ No.69 だより



令和5年8月 発行責任者 井上 重久 編集責任者 石川 章孝 長崎市水の浦町1-1 TEL095-861-6032



令和5年 6月定例会(6月20日 市議会議場)



福田地区ペーロン大会(6月25日 福田本町海岸)

**鈴木市長の重点取組み!**

鈴木市長は、6月20日の施政方針の中で、重点取り組みとして、人口減少対策の中でも「経済再生」と「少子化対策」の2つの重点分野を車の両輪と捉え、これを推進するため「新市役所創造」の3つのプロジェクトを始めると表明しました。

経済再生では、魅力的な雇用・しごとをつくりとるために、まちの機能を維持・活性化するため交流拡大と産業振興で経済を力強く再生していきます。少子化対策では、子育てに関する経済的負担軽減を図るとも

に、時間と場所の切れ目のない子育て支援や教育環境の充実を図り、子育てしやすいまちに転換していきます。新市役所創造では、職員が効率的・効果的に力を発揮できる、働き方や行財政運営を時代の流れにあったものに転換し、新しい時代の市役所を創造して行くとの見解を示しました。

政策推進体制として、高度な専門性を持った外部人材を政策顧問として登用し、政策顧問と企画財政部長以下の市役所メンバーで政策実現会議を設置すると共に、目標達成に向けた具体的な道筋を明らかにするアクションプランを策定、施策の適切な見直しを行う

**4年振り福田地区ペーロン大会!**

福田地区自治会連合会は、6月25日に福田本町海岸において4年振り「令和5年度福田地区ペーロン大会」を開催、4地区対抗(柿泊・大浜・本町・小浦)のペーロン競漕が行われました。この大会は「福田地区の伝統行事であるペーロン大会を通じて、地域の絆づくり、親睦・交流を図るとともに次世代へ継承すること」を目的に開催されています。小雨が降る中で、各地区の青年団を中心に約150人が、太鼓やドラのリズムにあわせて力強いかいさばきを魅せ、白熱したレースを展開しました。

成績は柿泊チームが優勝、準優勝は福田本町チーム、3位は大浜町チーム、4位は小浦チームとなりました。また、福田小学校コミュニティ連絡協議会は、同大会の中で伝統行事を子ども達に継承し、地域の皆で交流を深めようと「子ども体験ペーロン」を実施しました。当初はペーロン船2艘での予定であったが、結果は3艘でのペーロン体験となり、笑顔あふれる元気な姿が印象的でした。

長崎市議会議員

井上 重久



市民ナイターソフトボール大会合同開会式 (5月28日 長崎市営ソフト場)



基幹幹事連ふれあい対話集会 (5月27日 三菱G労連長崎地区本部)



福田小学校入学式 (4月11日 福田小体育館)



大浜町ペーロン大会 (6月18日 大浜海岸)



社協福田支部ふれあい食事会 (6月9日 福田地区公民館)



第12回同盟友愛塾 (6月3日 矢太樓)

活動の備忘録

4月~6月

教育厚生委員会報告要旨(6月29日~7月3日)

- ◆電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金給付事業費……………19億7,208万円
- ◆特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯等の世帯主に対して1世帯当たり3万円の給付金を給付するもの。
- 【給付対象世帯数】65,736世帯
- 【給付開始時期】令和5年8月(予定)
- ◆障害者福祉施設整備事業費 障害福祉センター ……3,500万円
- ◆保健環境試験所施設整備事業費 検査機器整備 ……2,000万円
- ◆公民館施設整備事業費 大型公民館…1,430万円
- ◆琴海文化センター1階多目的ホールの床改修工
- 【一般会計債務負担行為】
- ◆学校給食センター整備運営事業(南部地区)(運営期間15年)
- ◆59億2,634万8千円↓66億6,597万6千円に変更
- ◆小学校整備事業費 高尾小学校舎等改築…910万円
- ◆築65年が経過し、耐力度調査の結果においても建替えの対象となる指標を下回っている高尾小学校について、改築に向けた調査等を行うもの。



高尾小学校校舎



高尾小学校プール、給食室棟施設

編集後記

▼長崎市ソフトボール協会は、5月28日長崎市営ソフトボール場(松山町)において「第52回市民ナイターソフトボール大会」第40回市民SPナイターソフトボール大会の合同開会式」を執り行った。当日は、戸町中学校吹奏楽部のマーチにのって選手団が力強く入場し、合同開会式に花を添えてくれた。

主催者を代表して「ソフトボールは少年ソフトからハイシニアの大会まで幅広い層に親しまれ、大会や練習を通じてチームの親睦・交流や、心身の健康づくりなど図ってほしい」との挨拶があった。出場チームは115チーム、出場選手は約2,000人、市民最大の行事となっている。

▼4月23日(日)即日開票された長崎市議会議員選挙は、24日未明までに40名の新議員が決まった。定数40名に57名が立候補、大混戦模様の中で投票率は長崎市選挙区で47.19%(前回47.33%)の投票率となった。

井上市議5回目の戦いは、機関決定の遅れ、事前準備不足、組織人員の大幅減少などを跳ね返し、3,492票を獲得し「井上重久V5」を達成した。今後とも、働く者・地域の代表として住みよい長崎づくりを期待する。

ご相談はお気軽に!

長崎市議会議員 **井上重久**

自 宅 長崎市大浜町408 ☎865-3553  
生活相談室 長崎市水の浦町1-1 ☎828-7422  
http://inoueshigehisa.net/

井上重久ホームページはこちらから↑



令和5年第4回定例会(6月議会)開催!

# 一般会計補正予算64億5,889万2千円、33の議案を可決・同意!



令和5年長崎市議会第4回定例会は、6月20日から7月7日までの18日間の日程で開催された。一般会計補正予算は、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金の21億1,721万1千円及び原油価格・物価高騰対策に15億7,378万円、施策の推進に24億8,502万9千円、経済再生に4億3,138万1千円、少子化対策に3億6,220万1千円など一般会計に48億8,511万2千円、特別会計749万4千円、企業会計378万3千円の総額70億1,360万円を可決した。

条例改正では、長崎市基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正、大規模の修繕等が行われたマンションに係る固定資産税の減額措置が講じられた「長崎市条例の一部を改正する条例」など。工事の請負契約の締結について(長崎東公園コミュニティプール屋根ほか改修工事)、財産の取得について(イノシシ等侵入防止柵、デスク型パソコン及び周辺機器)、市道路線の廃止について(廃止5路線)など。人事4件、予算5件、条例7件、その他6件、報告11件の合計33件を可決・同意した。

## 主な補正予算



7月6日現在の長崎スタジアムシティ

◆長崎スタジアムシティ開業  
気運醸成費

スタジアムシティが市民の目に触れる機会を増やし、市民の認知度を高めるとともに、まち全体でスタジアムシティを応援する気運を醸成するもの。

◆新市庁舎建設工事等

新庁舎の一部のエレベーター乗り場に現在位置を示すインジケータの設置や、駐車場に駐車位置の目印となるサイン設置などを行うもの。

◆長崎ランタンフェスティバ

ル事業共催費負担金  
…2,095万5千円



長崎ランタンフェスティバル

◆長崎ペンギン水族館施設整備

長崎ペンギン水族館において、入退場管理システムのキャッシュレス化やベビーカーの設置などを行うもの。

◆保育士等サポート事業費補助金

…1億9,900万5千円  
◆長崎帆船まつり事業共催費負担金…1,738万円



長崎帆船まつり

◆プレミアム付電子商品券発行事業費  
…12億9,330万円  
市民向けのプレミアム付商品券を販売し、生活支援及び市内事業者の事業継続支援を図るとともに、市内のキャッシュレス決済の普及を図るもの。

## 一般質問(要旨)



一般質問に登壇(6月27日)

## 公共施設マネジメントの取組み状況!

質問…マネジメントのこれまでの取組み状況、課題の認識、進捗状況及びコスト削減の状況はどうなっているのか?  
回答…平成29年から始めた地域との対話を通じて策定する公共施設マネジメント地区別計画は、令和4年度で策定を終え、令和5年度からは全ての地区で実行段階に移っている。

る。学校・市営住宅を除き、2022年度までに見直しを行うことになっていた63施設のうち48施設について、公共施設の配置の見直し、複合化及び廃止を行っている。  
マネジメントの課題は、長崎市の公共施設全体の約3分の2を占めている市営住宅と学校施設の適正な配置が重要であると考えている。市営住宅は、計画的な管理戸数の削減に努め、学校施設は子どもたちの教育環境の改善を整備の最優先としながら、適正配置を進めていくことにしている。



自席からの再質問(6月27日)

維持管理コスト削減の状況は、施設の更新や改修費用として2015年から2022年までの削減効果を183億円と試算していたが、今後はさらに551億円の削減が必要と推計している。公共施設



ダイヤモンド・プリンセス(5月9日)

## 訪日客の動向と交流人口拡大!

を適正に維持管理しながら、公共施設の総量抑制の観点から取り組みを推進する。

質問…クルーズ船を含めた訪日客の動向、クルーズ船の受け入れ態勢、経済波及効果を促す市の観光振興策は?  
回答…長崎市の外国人観光客数は、「モバイル空間統計」によると、令和4年10月11日に個人旅行の入国が緩和されてから、急速に回復に転じている。令和5年1月から3月の直近のデータでは、長崎市の外国人観光客数は44,000人で、令和元年の同期間と比較すると、約7割まで回復、クルーズ船の動向は欧米系のクルーズ船を中心に、令和元年の183隻と比較して

## 観光資源の磨き上げ!

6割強まで回復している。クルーズ船の受け入れ態勢は、新たな感染症まん延等の有事に備えるため、国、県、市、大学などで「長崎港クルーズ船受入に関する情報共有連絡会」を構成し、円滑な情報共有と協力できる体制を整えている。  
インバウンドの経済波及効果を促す観光振興策は、民間事業者と連携し、多言語化に対応した体験コンテンツや周遊ツアーを増やして行くほか、飲食店の多言語化、ベジタリアンやビーガン、ムスリム対応など食の多様性への強化を図る。

質問…市長はどういう視点・方向性を持って取り組んでいくのか?  
回答…選挙公約「新長崎ビジョン」の柱の一つに、「交流拡大と産業振興で、力強い経済の再生」を掲げた。経済再生のうち、特に即効性が高い分野である交流拡大は、新たなまちの基盤が生まれつつあること、インバウンドをはじめ交流の拡大が見込まれる好機を捉え、長崎の歴史、文化、自然、食、人などの魅力を掛け合わせることで、より活性化すると考える。

## 地域コミュニティ連絡協議会の取組み!

官が行うハード整備だけでなく、民間事業者や市民も含めオール長崎で取り組むことが、唯一無二の魅力になる。DMOの体制も整い、インバウンドの回復に向けて、「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」や「観光再始動事業」など、資源磨きを支援する国の制度を十分活用しながら取り組みを進める。



福田小コミュニティ連絡協議会総会(4月26日)

質問…地域コミュニティ連絡協議会の取組みと今後の支援は?  
回答…人口減少や少子化・高齢化など社会状況が変化している中、長崎市では将来においても住民が暮らしやすいまちでありつづけるために、様々な地域課題に対応できるようにと、コミュニティ連絡協議会の

公共施設マネジメントについて	(1)具体的取組の状況 (2)小中学校適正配置の進捗状況
観光振興について	(1)訪日客の動向と交流人口の拡大 (2)観光資源の磨き上げ
長崎市中央卸売市場について	(1)将来のあるべき姿
地域コミュニティ連絡協議会について	(1)設立状況と今後の方向性
一般国道202号の整備促進並びに(仮称)福田バイパスの早期事業化について	(1)一般国道202号の整備状況

質疑の概要は井上重久ホームページ「議会報告」のなかに掲載しています。